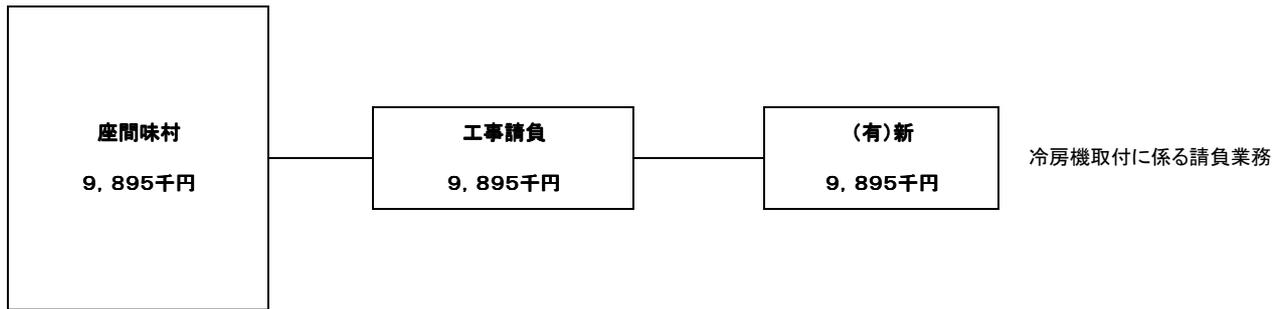


市町村名		座間味村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-①	学校教育環境改善事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-3-(11)-イ			
	担当部署名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)		
事業内容	学校教育施設において、空調設備が整っていない給食室、視聴覚教室及び児童生徒交流センターなどの特別教室等において、施設内環境を改善する為冷房機の取り付けを行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	9,895					
		(b) 予算現額	9,895					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	9,895	0				
	B. 執行済額		9,895					
	うち交付金充当額		7,916					
	次年度繰越額		0					
	執行率 (%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		補正予算で計上						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	学校施設への冷房機設置	目標	(23台)	()	()	()		
		実績	23台					
	学校施設への冷房機設置	目標	(23台)	()	()	()		
		実績	23台					
達成状況説明	学校施設(7施設)に冷房機(23台)を設置できた。冷房機を設置することにより、教育環境が変化し学力向上等にも寄与することが期待できる。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	7施設23台の冷房機の設置	目標	(0台)	(23台)	()	()	()	
		実績		23台				
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()	
		実績						
進捗状況説明	平成24年12月25日に請負契約し、平成25年2月28日に工事を完了した。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	学校施設に冷房機を設置し、教育環境が変化したが、冷房機を使用するにあたり、電気代の高騰が懸念される。	電気代が高騰が懸念されるが 全体の電気代等の節約を行う。
今後の取り組み方針		
今後の取組としては、普通教室等に冷房機を設置したい。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,895	9,895	7,916	1,979	



資金の用途の流れ、点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業者は指名参加願いに提出された登録業者のなかから選考し、入札を行った。 ○予算規模は、適正な規模だと考えている。 ○費目・用途については、目的に即したものと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		座間味村					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	座間味歴史文化継承事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-1-(4)-ア		
	教育委員会			事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり	
担当部課名				沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)		
事業内容	歴史文化の次世代への継承と周知を図る為、過去村内の長老や各家庭で聞き取りした民話や童話をとりまとめた原稿の資料をもとに一冊の本として発刊する為の編集作業等を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,889				
		(b) 予算現額	4,818				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 71				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	4,818	0			
	B. 執行済額		4,818				
	うち交付金充当額		3,854				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	保存・継承した民話や童話の編集	目標	(1000部)	()	()	()	
		実績	1000部				
	保存・継承した民話や童話の編集	目標	(1000部)	()	()	()	
		実績	1000部				
達成状況説明	筆耕料については、座間味村民話編集委員会を設置し、過去に村内で民話集として聴耳話翻訳したものを、検証・整理・補足調査しそれを編集し、その原稿をもとに一冊の民話集を作成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	保存・継承した民話 13件	目標	()	(13件)	()	()	()
		実績		13件			
	県内主要図書館配布 45施設 県内市町村教育委員会等配布 40市町村	目標	()	(85箇所)	()	()	()
		実績		85箇所			
	進捗状況説明	保存継承した民話集を県内図書館及び各市町村教育委員会等への配布					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	座間味村民話編集委員会を設置し、冊子を作成したが、村の歴史・文化などわかる人材が高齢化し、後継者ほとんどいない状況にある。	村の歴史・文化等の後継者づくりの人材育成を早急にする必要がある。
今後の取組み方針		
<p>今後は、民話集を学校の授業に活用出来る仕組みを導入</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	4,818	4,818	3,854	964	
<pre> graph LR A[座間味村 4,818千円] --> B[筆耕料 3,200千円] A --> C[委託料 1,600千円] A --> D[事務費 18千円] B --> E[座間味村民話集編集委員 3,200千円] C --> F[新星出版株式会社 1,600千円] D --- G[需要、旅費等] E --- H[聴耳話翻字の検証・整理・補足調査に係る編集] F --- I[冊子編集に係る委託業務] </pre>					
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目		評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○座間味村民話集編集委員会設置し、その委員に筆耕料として委託したが、妥当であったと考えている。 ○費目・使途は事業目的に即したものになっていると考えている。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。			
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。			
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			

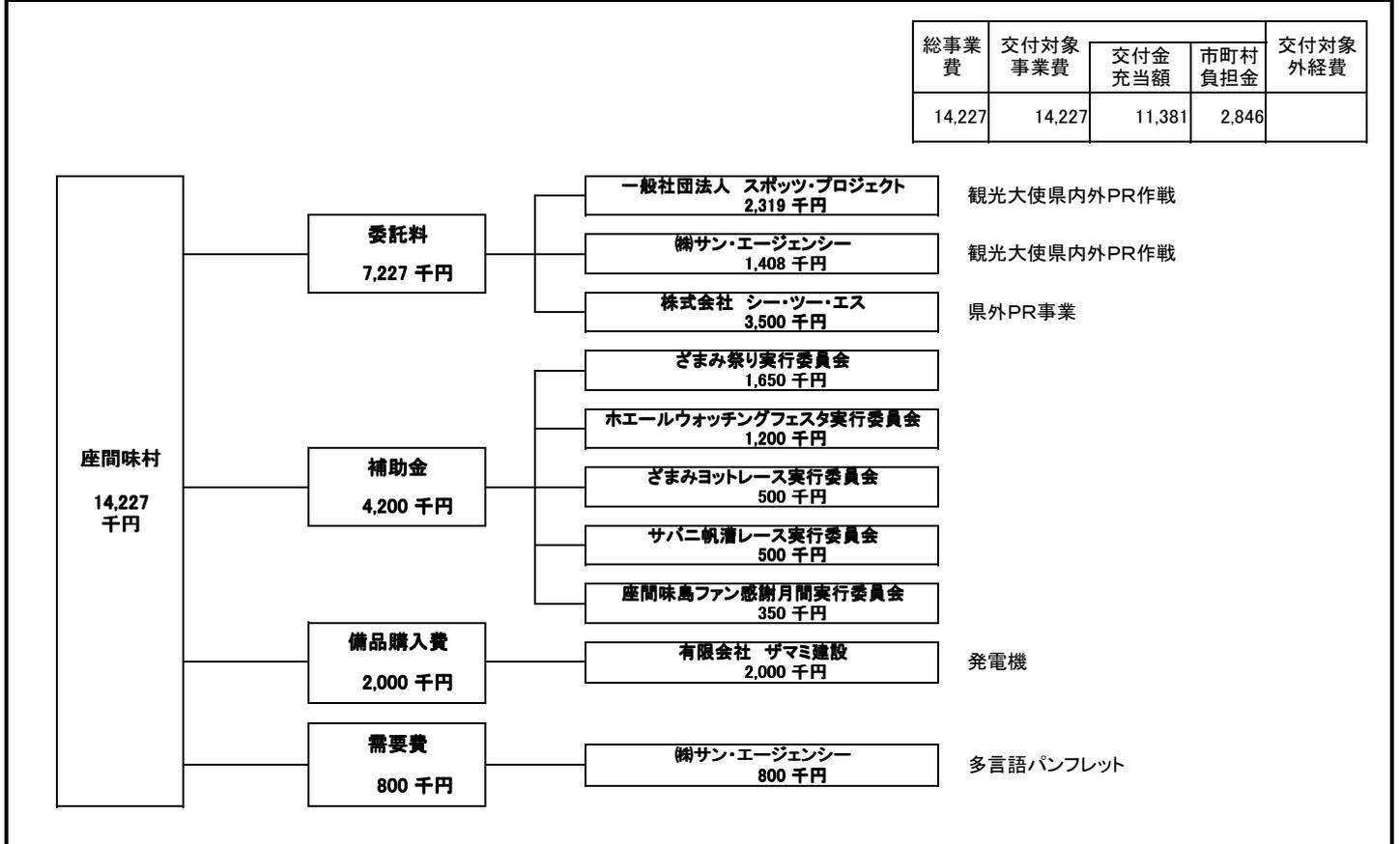
市町村名		座間味村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-①		がんばる観光支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 3-(2)		
	担当部課名	産業振興課		事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 第Ⅲ章 1-(1)	
事業内容		観光客誘致に向け既存イベントである座間味村祭り・ホエールウォッチングフェスタ等の開催内容の拡充を図るため、主催団体及び村商工会へイベント拡充支援と観光大使の派遣による県内外PR活動を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（請負工事）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	14,227					
		(b) 予算現額	14,227					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	14,227	0				
	B. 執行済額		14,227					
	うち交付金充当額		11,381					
	次年度繰越額		0					
	執行率 (%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		直接実施 備品購入で発電機購入 補助金等 各種実行委員会へ運営費を補助金 委託料 業務委託						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	ホエールウォッチングフェスタ来場数	目標	(8,000人)	()	()	()		
		実績	9,797人					
	座間味ヨットレース	目標	(25艇 300人)	()	()	()		
		実績	26艇 300人					
	観光大使等県内外PR活動	目標	()	()	()	()		
実績		50日間開催						
達成状況説明	観光客誘致に向け既存イベントである座間味村祭り・ホエールウォッチングフェスタ等の開催内容の拡充を図り、県内外からの観光客が増加し、座間味村を県内外へPRできた。また、観光大使による県内外での座間味村PR活動により、スポーツアスリートが本村を訪れ、より良い宣伝効果があった。							
成果目標(指標)及び進捗状況			基準値 (24年1～3月)	(25年1～3月)	25年度	26年度	目標値 (年度)	
	ホエールウォッチングフェスタの開催	目標	()	(WWF開催)	()	()	()	
		実績		開催				
	座間味ヨットレースの開催	目標	()	(ヨットレース開催)	()	()	()	
		実績		開催				
	観光大使等県内外PR活動	目標	()	(PR活動)	()	()	()	
		実績		開催				
進捗状況説明	冬場の観光客については、天気もよくホエールウォッチングや、座間味村魅力をPRできた。しかし、夏場については、台風による船の欠航により観光客が大幅に減少となった。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	今後の事業展開として既存のイベント海を舞台にしているので安全第一で県内外へPRが必要である。	関係機関(観光協会・各ダイビング協会・地域住民)との意見確認を行い改善余地の検証を行行う事とする。

今後の取り組み方針

地域で観光客を迎える(おもてなしの心)を大事にし、各関係機関との連絡を密にし、安全第一でイベント事業に取組んでいく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	観光大使により、県内外での座間味村PRで観光客の増加が見込まれる。各種イベント実施で座間味村を全国的に紹介ができ、新規、リピーターの観光客が増加があった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		座間味村					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	ファンを育てる観光地ポータルサイト作成事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	3-3-(12)-ア		
	担当部署名	総務課	事業実施 (予定)年度		平成24年度	観光リゾート産業の振興	
事業内容	観光が唯一の産業である本村では、ここ数年観光客数が減少しており、村経済に大きな影響を与えている。しかし、マリンレジャーサービス55店、宿泊施設75軒をはじめ、飲食・物販などすべての事業所が零細であり、費用のかかる広告宣伝などはできず、売り上げ減に苦慮している。そこで、村の観光ポータルとなる公式WEBサイトを制作し、国立公園課を控える本村の魅力を発信。多様化する個人旅行者のニーズに応えるべく、複数の更新担当者が簡単に最新の観光情報を提供できる更新システムを構築することで、多くのアクセスを獲得し、それをリンク先である村内事業所にシェアすることで誘客につなげてゆく。同時に、増加する外国人への多言語対応を図る。さらに、現在有料メンバーを対象にサービス提供している村営船舶WEB予約を一般客にも広げ、クレジットカード決済による利便性の向上をはかる。また、観光客参加型の映像投稿が可能となるコンテンツ開発やシステム構築を行うことで、ファン組織の結束を高める。				沖縄振興基本方針 該当箇所	第三章 1-(1)	
					実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（請負工事）	
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+ 「市町村負担」 ベース）	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
		(a) 当初予算額	33,000				
	(b) 予算現額	36,000					
	(c) 増減額 (b-a)	3,000					
	(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計 (b+d)	36,000	0				
	B. 執行済額	35,700					
	うち交付金充当額	28,560					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	99.2%					
予算の状況の説明	当初32,550千円にて委託契約したが、スマホ向けキャンペーンサイト構築などで3,150千円増額の改定契約を行った						
活動目標(指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
	誰もが更新できるCMS構築による観光関連情報の配信充実 多言語翻訳システム構築 船舶予約 カード決済システム構築	目標	(ポータルサイト構築)	()	()	()	()
		実績	ポータルサイト構築				
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	達成状況説明	ポータルサイトとスマホ向けキャンペーンサイトをリリースし ・権限を持つ村職員と観光協会職員誰もが更新できるCMS構築により、村内事業所情報や最新情報を積極配信 ・観光関連情報と行政情報を分け、英語、中国語(繁体字・簡体字)、韓国語、フランス語、ドイツ語、スペイン語に自動翻訳 ・有料メンバーだけでなく、一般客にも村営船舶のWEB予約を拡張し、さらにクレジットカード決済をWEBと乗船券窓口で導入 ・ホエールウォッチングシーズンにリリースしたスマホ向けキャンペーンサイトは、東京での本村単独PRイベントを盛り上げた					
成果目標(指標) 及び進捗状況		基準値 (24年4月)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)	
		目標	()	(ポータルサイト構築)	()	()	()
	実績		ポータルサイト構築				
	目標	月間PV 144,418	()	()	()	()	
	実績		月間PV 274,769				
	進捗状況説明	アクセス数向上面では、昨年同月を2倍近く上回り、訪問した閲覧者の滞在時間も5分以上をキープしていることから、多くの見込み客に豊富なコンテンツをじっくり楽しんでもらっていることがわかる。参考値であるが、那覇市観光協会のWEBサイト“那覇NAVI”は、月刊PV 72,000を公称しており、本村の自治体規模からしても月間274,769は圧倒的なページビューといえる。一部事業所においては、村WEBサイトを通じて数多くの問い合わせがあるなど、村内外から大きな反響を得ている。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・反響の大きさゆえ、村内事業所の紹介方法などに通常以上の公平感を求められている(事業所リストの紹介順番は常に変えてほしいなど)。また、事業実施の実質的な期間が短く、コンテンツが十二分に練られていない反省もあり、いまだに担当者による調整は続いている。 ・WEBサイトを閲覧した外国人からの問い合わせが増えたが、話す・書く ともに対応可能なスタッフが少ない。 ・更新スタッフへの権限(パスワード)配布が十分に進んでおらず、更新情報に偏りをきたしている。 ・新WEB予約(発券・売上管理)システムとクレジットカード決済導入による決済は、システムは納品されているが、新年度最初の繁忙期であるゴールデンウィーク終了後の運用研修実施としたため、リリースは6月11日である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委託事業は終了しているが、可能な範囲で委託先にも微調整を依頼し、あわせて新WEB予約システムの運用とクレジットカード決済を軌道に乗せ、夏の繁忙期に備えたい

今後の取り組み方針

村民と観光客の参加で成長するサイトに 小さな村の観光ポータルサイトとして、多くのアクセス数の獲得に成功した。このアクセスを伸ばし、全国的な話題づくりと誘客につなげてゆくため、一般的な行政サイトの観光情報ページのように初期情報を更新されぬまま放置するのではなく、キャンペーン目標を村観光協会と共有し、村内事業所や観光客が撮影した画像・映像の提供により本村でのアクティビティの楽しさを伝えるなど、マーケティング・ツールとして有効に活用したい。こうした村内事業所との協働はすでにスタートしており、トップページスライドショーは、リリース時点では座間味ダイビング協会が所有する観光リピーター撮影の画像であったが、次のテーマは阿嘉・慶留間ダイビング協会から提供されることになっている。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
35,700	35,700	28,560	7,140	

座間味村
35,700千円

株式会社 りゅうせき
35,700千円

WEBサイト制作業務委託一式

当初契約 32,550千円

改定契約 3,150千円

資金の流	評価	点検項目	評価に関する説明
用途の流れ、費用・点検・評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	プロポーザル方式により、本村の規則に沿って選定委員会が公正に委託先を決定。これまでの本村における類似の委託料からしても価格は妥当であると思われる。但し、役場内に専門知識を持つ情報担当者もおらず、今後の参考とするためにも、システム開発費について客観的な評価をしてもらえる機関がないか、沖縄県情報政策課に照会中。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	歴史文化・健康づくり拠点整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-3-(12)-ア		
担当部署名	住民課	事業実施（予定）年度	H24～H27	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興 第三章1-(4)		
事業内容	魅力ある観光陸域メニューの充実を図るため、既存港公園内へビーチバレーコートの整備を実施。また、将来、更なる充実と利便性向上を図るため全体計画の構想策定を実施。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> その他（請負工事）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	17,274				
		(b) 予算現額	17,274				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	17,274	0			
	B. 執行済額		17,273				
	うち交付金充当額		13,818				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		予算通りの執行である。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	公園整備基本構想計画の策定実施 ビーチバレーコート整備の実施	目標	(整備)	()	()	()	
		実績	整備				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	ビーチバレーコートとなる場所の測量及び設計を実施し設計書を策定。その後、工事請負としてビーチバレーコート2面整備及び周辺整地を行う。また、同地区の将来の基本構想として委託業務を発注し策定業務を完了した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	・ビーチバレーコート設置 ・グラウンド機能強化整備 ・公園内機能強化 ・ビジターセンター建築	目標	(コート2面 建屋1棟 整備一式)	(コート2面)	()	()	(コート2面 建屋1棟 整備一式)
		実績		コート2面			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	魅力ある地域観光地の拠点として既存公園機能強化を図る為ビーチバレーコート2面の整備を行った。また、同公園の機能強化に向け基本となる基本構想計画を策定し今後の事業展開の基礎とする。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>今後の事業展開として基本構想計画を策定していることから、これに準じ無理の無い事業展開を行う事が必要である。</p> <p>また、本村は国定公園への格上げが見込まれており、国定公園法による制限や規制等がかからないよう留意が必要である。</p>	<p>施設規模、規格及び利用者のニーズの動向において関係機関(観光協会・ダイビング協会・地域住民)との意見確認を行い改善余地の検証を行う事とする。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>基本となる構想計画において住民への説明や関係機関との調整を行いながら改善案等が発生したら速やかに対処し、より本村にあった公園機能強化として整備を実施していく。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17,273</td> <td>17,273</td> <td>13,818</td> <td>3,455</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	17,273	17,273	13,818	3,455		
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
17,273	17,273	13,818	3,455											
座間味村 17,273千円	委託料 2,100千円	株式会社 高松伸建築設計事務所 2,100千円	[基本構想策定委託業務]											
	委託料 1,260千円	株式会社 榑芝岩エンジニアリング 1,260千円	[ビーチバレーコート設計委託業務]											
	工事請負費 13,913千円	(有)中村建設 13,913千円	[ビーチバレーコート整備請負工事]											
資金の 用途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託の発注においてはプロポーザル1件及び指名競争入札1件にて発注。 請負工事についても指名競争入札にて発注を行っており村の規則等に基づく選定であり、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。													

市町村名	座間味村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-④	観光受入推進(パワーアップ)事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 3-(2)		
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	H24	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 第Ⅲ章 1-(4)		
事業内容	多様化する観光客のニーズと需要に応じるため、陸域メニュープログラム開発と、外国人観光客の生活文化習慣の違いによる対応を可能とするため接遇や料理講演会・多言語講座・セミナー等を開催する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（請負工事）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	13,946				
		(b)予算現額	13,946				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)前年度繰越額	—				
		A. 計(b+d)	13,946	0			
	B. 執行済額		13,946				
	うち交付金充当額		11,156				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		予算通りの執行である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
	多言語パンフ・ルールブック作成	目標	(委託業務)	()	()	()	
		実績	委託実績報告書				
	観光受入メニュープログラム開発	目標	(委託業務)	()	()	()	
		実績	委託実績報告書				
	達成状況説明	多言語パンフレット(英語、中国語、スペイン語、フランス語)を作成した。座間味村におけるルールブック作成した。陸域メニュー開発については、座間味村におけるノルディックパンフレット作成した。インストラクター講座もを行い、インストラクター養成した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	多言語パンフ・ルールブック作成	目標	()	(委託)	()	()	()
		実績	/		委託		
	観光受入メニュープログラム開発	目標	()	(委託)	()	()	()
		実績	/		委託		
	進捗状況説明	近年の外国人観光客の増加に伴い、多言語パンフレット(英語、中国語、スペイン語、フランス語)や、座間味村におけるルールブックを作成した結果、外国人の観光客からの口コミ情報が多く発信されたと思われる。(25年度は4月より、外国人増加傾向である)陸域メニュー開発については、ノルディックインストラクター養成や、料理教室等もを行い、座間味村における民宿の食事の内容に期待ができる。海上がシケでのアクティビティについては、インストラクターの活躍が期待される。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	予算の適正な執行に努めた。	事業成果を活用し、最大限効果を発揮していく。
今後の取り組み方針		
事業成果を最大限活かし、観光振興を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	13,946	13,946	11,156	2,790	
<pre> graph LR A[座間味村 14,227千円] --> B[委託料 13,946千円] B --> C["(株)かりゆし 13,946千円"] </pre>					
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目			評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。			○委託の発注においては今回は、村の事業形態をよく理解しており発注を行っており村の規則等に基づく選定であり、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。			
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。			
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			

市町村名	座間味村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	座間味村鮮魚美食事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-3-(12)-イ	
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24年～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産業の振興 第三章1-(6)	
事業内容	地元で採れる新鮮な水産物の食材を観光客や宿泊施設へ提供と流通を図るため、地元漁協協力のもと漁礁の設置や各種冷凍機材・保冷库及び移送用フォークリフト購入に係る事業費の補助を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	22,481				
		(b) 予算現額	21,783				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 698				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	21,783	0			
	B. 執行済額		21,783				
	うち交付金充当額		17,426				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		予算通りの執行である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	直売所開設 移動フォーク 冷蔵コンテナ・クーラボックス	目標	(1ヶ所 1台 5台・30台)	()	()	()	
		実績	1ヶ所 2台 5台・30台				
			目標	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	※鮮魚輸送用冷凍コンテナ、直売所の開設は、新鮮な魚が輸送できております。また、直売所に関しては現在行っており民宿・住民及び観光客から使用されています。 ※移送用フォークリフト・コンテナの購入については、カジキ等がコンテナにそのままの状態を持ち運びできて、輸送されるので新鮮なまま送れています。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	直売所開設 移動フォーク 冷蔵コンテナ・クーラボックス	目標	()	(1ヶ所 1台 5台・30台)	()	()	()
		実績	/	1ヶ所 2台 5台・30台			
			目標	()	()	()	()
			実績	/			
	進捗状況説明	※鮮魚輸送用フォークリフト・冷蔵コンテナ・直売所の開設は、新鮮な魚が輸送できております。また、直売所に関しては現在行っており民宿・住民及び観光客から使用されており、カジキ等の大きな魚はコンテナにそのままの状態を持ち運びできて、本土へ空輸便で輸送されるので新鮮なまま遅れています。					

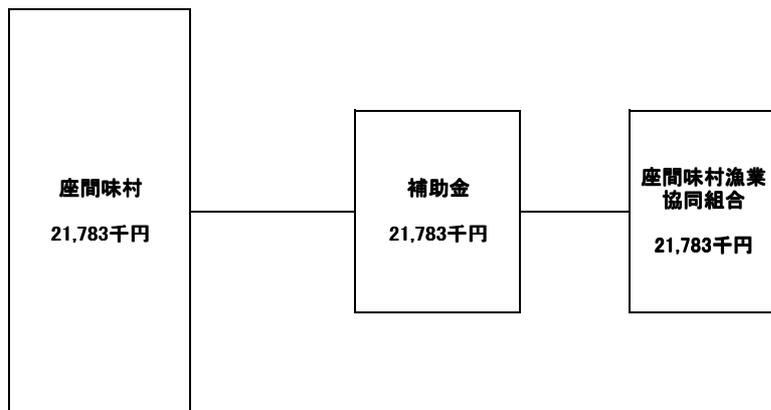
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>※パヤオの設置・観光とのリンク</p> <p>※鮮魚輸送用冷蔵コンテナ、直売所の開設</p> <p>上記事業を行いました。住民及び観光客等においては、好評を得ております。</p> <p>また、見る(新鮮な鮮魚を)食べる(ここで旬な素材の物を)見せる(魚の解体等)を行っていきたいが、場所の確保が必要になる。</p> <p>それから、パヤオは設置したが自然災害により切れて無くなることもあるようなので、そこの所が心配である。</p>	<p>左記の事業を設置及び開設が終わり、住民及び観光客より評価を得ております。</p> <p>また、これに伴い水産物の安定生産供給体制を構築することができ、観光客への食事から特産品まで地域の素材を活かした製品を提供できる島を目指します。</p>

今後の取り組み方針

平成25年度は地産地消の推進と直売所の強化を行います。
また、観光産業と融和した産業を創出し、地域の魅力向上を図っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
24,204	21,783	17,426	4,357	2,420



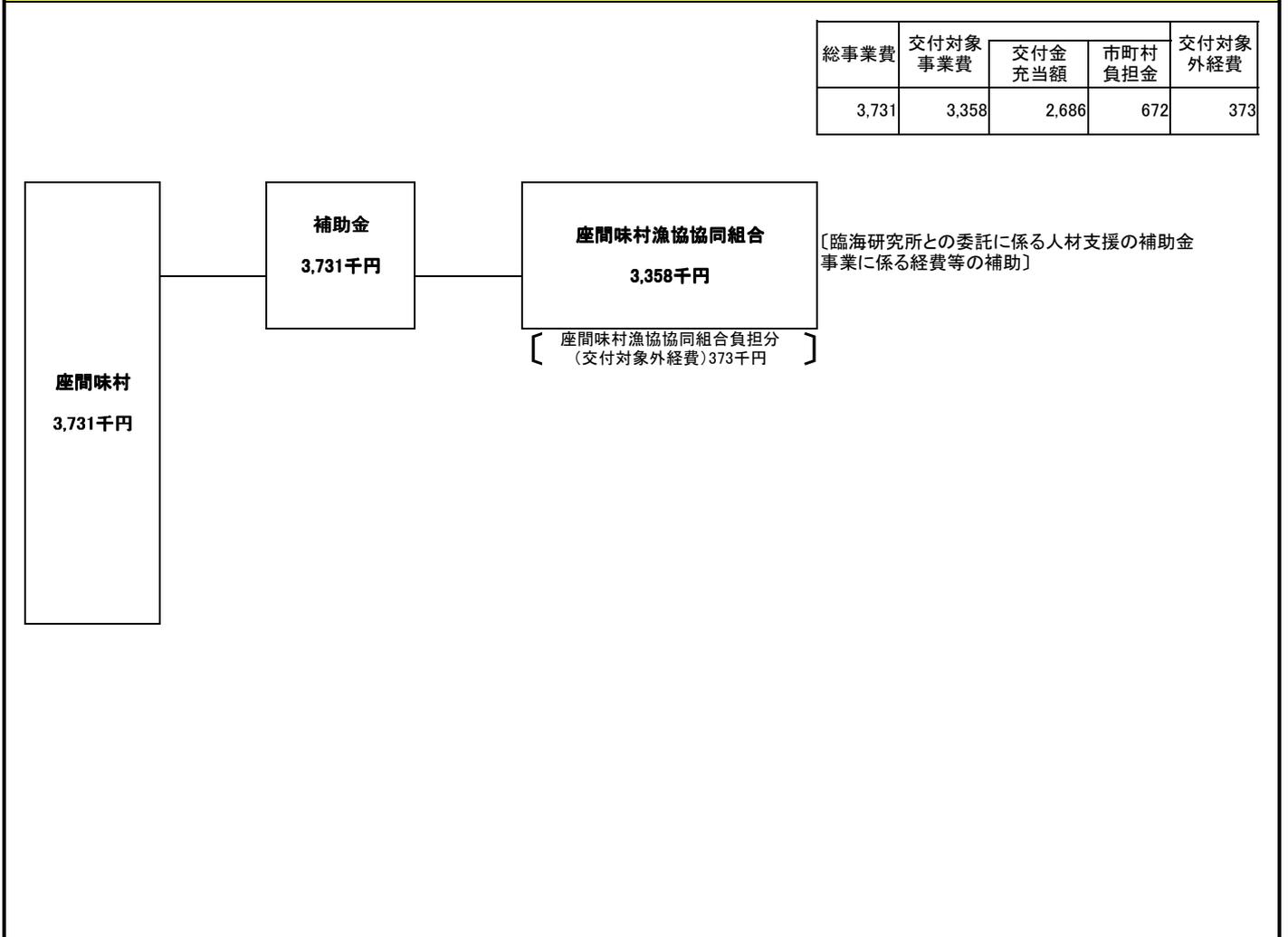
資金の流 点 検 評 価 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・事業の支出先は妥当である。また、事業の用途については実績報告、額の確定時における支出等の書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	サンゴ(海の森)育成・植付事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-3-(12)-イ	
担当部課名	住民課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産業の振興 第三章1-(6)	
事業内容	白化現象やオニヒトデの異常発生の影響により、失われたサンゴ礁海域の回復に向け、地元漁協及び海洋研究所とタイアップのもと、サンゴの種の養殖と育成及び海への植付に係る生育活動の人材支援活動を行うための補助を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,700				
		(b) 予算現額	4,230				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 470				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	4,230	0			
	B. 執行済額		3,731				
	うち交付金充当額		2,686				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		88.2%				
予算の状況の説明		研修職員の採用、配置が遅れたため人件費の減額が発生した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	サンゴ育成活動及び種育成海上イクス作製のための人材育成に対する支援	目標	(支援実施)	()	()	()	
		実績	支援実施				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	漁協協同組合職員を、臨海研究所に派遣することによって専門的知識を習得することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	サンゴ育成技術研修会の実施:3ヶ月間海上イクス作成(海上現場)	目標		海上イクス1基研修会3回	()	()	種苗施設確保
		実績		海上イクス1基研修会2回			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	漁協協同組合、臨海研究所、役場との研修、意見交換を1回、村内ダイビング協会と意見交換会を1回実施し今後に向けて様々な意見が得られた。また、他村で実際に行われている養殖、植付事業の視察を行い今後の方針を固めることができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>人材育成は順調であるが、配置が遅れたため年間通してのサンゴの生態等を把握できていない部分があり今後の課題である。 ダイビング業者との意見交換を多く実施すべきであり、漁協協同組合とダイビング業者の協力関係を密にする必要がある。</p>	<p>臨海研究所というサンゴに関して、専門的施設、人材がいることからアドバイザー的な役割を今後も継続し、なおかつダイビング業者ならではの視点、漁協協同組合からの視点を集約し改善していく。</p>

海上イケースにおいて、種苗の管理の徹底を図り商品となるサンゴの数を確保していく。
また、村内ダイビング協会との連携を密に図り、植付ポイント、植付事業の展開を検討していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



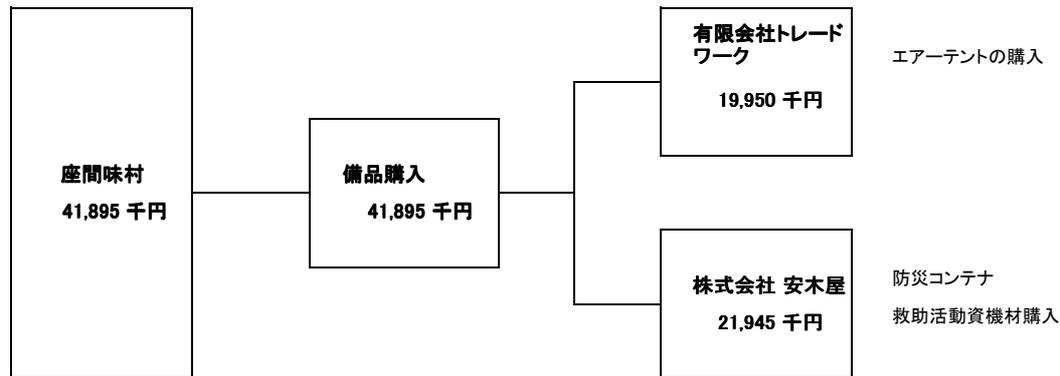
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○		支出先の選定方法は妥当か。	○費目、用途については実績報告、額の確定時における支出等の書類により確認、適正であった。
	○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	離島防災備蓄品設置対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-2-(4)-イ	
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	H24	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化		
事業内容	本村の高台避難場所は拠点となる建物がなく長期避難が不可能なため、仮設テント設備配置を図り、救助活動資機材の確保と食糧・飲料水保管のため防災コンテナを設置。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		25,000				
			45,722				
			20,722				
			—				
			45,722	0			
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率 (%) (B/A)		41,895				
			33,516				
			0				
			91.6%				
予算の状況の説明	不用額は入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施し適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	防災倉庫の購入 (非常食・救急用品。救助機材・照明器材等の購入格)	目標	(防災コンテナ6機 村全5地区へ救助資機材設置)	()	()	()	
		実績	防災コンテナ6機 村全5地区へ救助資機材設置				
	避難テントセットの購入	目標	(6張)	()	()	()	
		実績	6張				
達成状況説明	計画通り資機材を購入し、災害時の対策として設置でき、今後は使用マニュアルの作成や訓練を行うこととする。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	防災倉庫の購入:6機 食糧確保・救助資機材設置	目標	()	(配備完了)	()	()	()
		実績		配備完了			
	避難テントセットの購入	目標	()	(6張)	()	()	()
		実績		6張			
	進捗状況説明	全地区(5字区)へ上記を設置でき、災害時、住民はもとより観光客への対応も可能になった。今後は、資機材の使用訓練などをとおして災害時に即時に対応できる環境を構築するとともに、テントや資機材の増設を目指す					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	資機材の使い方やテントの立上などの訓練及び防災・減災への啓蒙活動	資機材使用訓練の実施や使用マニュアルの作成
今後の取り組み方針		
さらなる資機材の増設や、地域住民との資機材使用訓練の実施。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
41,895	41,895	33,516	8,379	



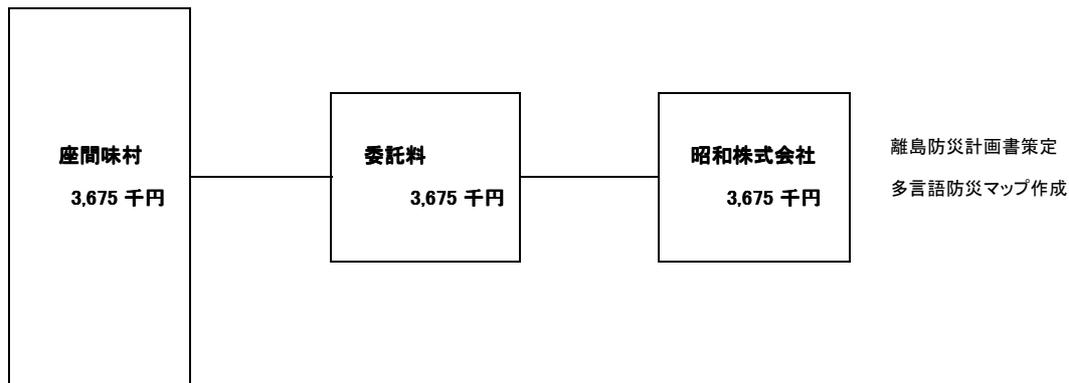
資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	購入先業者は一般競争入札により決定し、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③	離島防災計画等策定事業					
担当部課名	総務課	事業実施（予定）年度 H24					
		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 3-2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化					
		沖縄振興基本方針該当箇所 Ⅲ-10-(2)					
事業内容	1村3島からなる本村特有の地理的要因や観光地としての諸条件を考慮し、実情に見合った防災・減災への取り組み指針となる離島防災計画の策定及び多言語化防災マップの作成						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		3,800				
			3,800				
			0				
			—				
			3,800	0			
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率 (%) (B/A)		3,675				
			2,940				
			0				
			96.7%				
予算の状況の説明	不用額は入札残によるものであり、計画していた事業内容はすべて実施し、適正であったと考えている。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	防災計画書策定 多言語防災マップの作成	目標	(計画策定作成及び配布)	()	()	()	
		実績	計画策定作成及び配布				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	沖縄県の防災計画の見直しにより、整合性及び島の実情、東日本大震災に沿った防災計画書の作成多言語防災マップを作成						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）	基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	離島防災計画	目標	()	(計画策定作成及び配布)	()	()	()
		実績		計画策定作成及び配布			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	沖縄県の防災計画の見直しにより、整合性及び島の実情、東日本大震災に沿った防災計画書の作成。多言語防災マップを作成し、必要箇所へ配布することにより啓発することが出来た。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	多言語の防災マップを作成したが、話すことの出来る対応可能なスタッフ(職員・住民含む)がいない。 外国人観光客への啓発活動	計画に基づいて、地域住民や観光客(外国人含む)への啓発活動や訓練を実施する。
今後の取り組み方針		
計画に基づき、標識の整備や離島の特殊性を踏まえた実施、自主防災組織の推進などを促し、外国人観光客への対応として観光部署と連携し外国語勉強会や観光客(外国人含む)への啓発活動を実施する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,675	3,675	2,940	735	



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	企業組織、実績等を勘案したうえで指名競争入札とし、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5	座間味村環境保全整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-1-(6)-イ	
担当部課名	総務課	事業実施（予定）年度	平成24～32年度		沖縄振興基本方針該当箇所	花と緑あふれる県土の形成 Ⅲ-10-(1)	
事業内容	観光客誘致と受入体制の整備のため特例公園である本村の自然を生かした魅力ある景観形成促進のため、フラワーパークの構築や、玄関口でのウェルカムフラワーを設置し、年間をとおして花と緑で観光客を迎え入れる。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,602				
		(b) 予算現額	10,602				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	10,602	0			
	執行状況	B. 執行済額	10,500				
		うち交付金充当額	8,400				
		次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	99.0%					
予算の状況の説明	・不要額102千円発生しているが、プロポーザル方式により委託契約を行い適正な業務執行をした為、問題ないと思われる。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	各離島の地理・自然条件に見合った基本計画書の策定 記念植樹・苗木配布の実施	目標	(基本計画策定業務委託)	()	()	()	
		実績	基本計画策定業務委託				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	地元住民から植物に対する意識調査のアンケートを行い、それに基づき基本構想・基本計画の策定。 本村の「座間味村美ら島づくり花の森整備事業」の旗揚げとして、記念植樹祭の実施及び各世帯への苗木配布。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	座間味村美ら島花の森基本計画書の策定 花の森記念植樹祭の実施 苗木配布全世帯数:500世帯	目標	()	(基本計画策定植樹祭苗木500世帯配布)	()	()	()
		実績		基本計画策定植樹祭苗木500世帯配布			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	住民による意識調査のアンケートを実施し、各地区の区長と基本構想・基本計画を策定した。この計画を基に次年度以降は実施計画の策定及び委託工事の発注を行う。 また、座間味島の平和之塔にて花の森整備事業の旗揚げとして記念植樹祭を実施し、その後各世帯に苗木の無料配布を行った。					

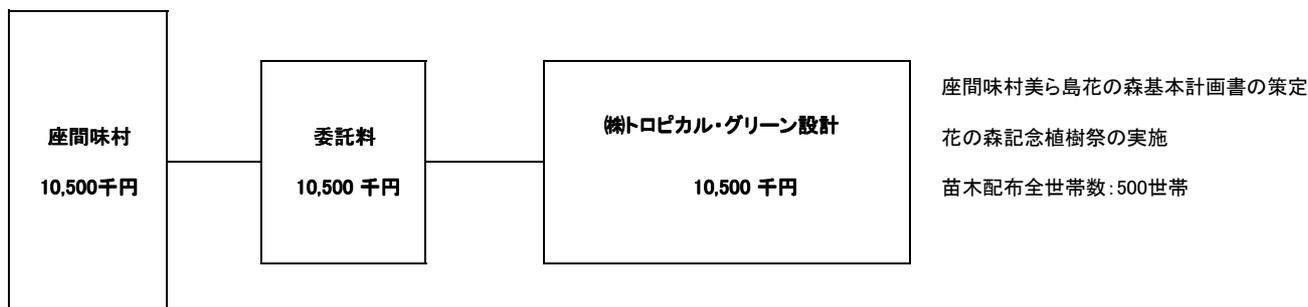
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>今後の事業展開として基本構想・基本計画に基づき、各区の実施計画の策定をする必要がある。 実施計画に基づき、委託工事も次年度から実施するので、ソフトとハードに分けて適正な事業執行が必要である。</p>	<p>各地域の特色にあった実施計画を策定するため、地元住民はもちろん区長や各関係団体との調整を行い検証する。</p>

今後の取り組み方針

各区長や各種団体などを取り入れて実施計画策定委員会を設置し、委託工事発注の優先順位や基本構想を基にした設計イメージを策定する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,500	10,500	8,400	2,100	



資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○プロポーザルにより委託業者を1件発注。 村の規則等に基づく選定であり、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6	ハートフルサポート基盤整備事業					
担当部課名	住民課	事業実施（予定）年度 平成24年度					
		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 3-3-(11)-イ 生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上					
		沖縄振興基本方針該当箇所 III-4					
事業内容	離島である本村において、地理的要因によって必要な社会福祉サービスを受けないことがないよう、社会福祉サービスの拠点を整備する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		31,200				
			31,200				
			0				
			—				
			31,200	0			
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率 (%) (B/A)		30,000				
			24,000				
			0				
			96.2%				
予算の状況の説明	当初、人件費を計上していたが、交付決定が、7月末になったため、施設整備に関するアンケート配布や資料作成の業務が終了しており、用人期間が終了したため不要となった。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	社会福祉サービス拠点整備に対する補助	目標	(福祉複合施設基盤整備) () () ()				
		実績	平成24年9月28日工事完了				
		目標	() () () ()				
		実績					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 補助対象事業者社会福祉法人沖縄偕生園がペンションとして利用されていた施設を総額49,757,000円で購入（契約日平成24年8月8日 引き渡日期日：平成24年8月13日） 平成24年8月15日施設改修工事契約締結 平成24年9月21日工事完了引き渡し 平成24年10月1日介護サービス開始 						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）	基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	社会福祉法人による施設開所（目標：H24年10月） 小規模多機能居宅介護定員H23年0人⇒25名 短期入所定員H23年0人⇒4名	目標	() (開所及び定員確保) () () ()				
		実績	開所及び定員確保				
	【参考指標】 沖縄県介護保険広域連合第5期計画見込量数値	目標	() (小規模多機能居宅介護事業所の開設) () () ()				
		実績	利用者数5名				
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉法人による施設開所を10月に実施 小規模多機能居宅介護事業所を本村において新規開設、24時間切れ目の無い介護サービスが提供可能となる。登録者数4名 これまで、人材不足により実施できなかった短期入所サービスを施設の整備に伴い実施することが可能となり、介護家族の負担軽減を図ることができた。利用者数 6名 延べ利用日数 29日 						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	施設においては、障害者、子どもとの共生サービスを実現できる福祉複合施設としての機能を備えることが最終目標となっているが、認可外保育所、地域活動センターを開設するには、法的な手続に時間を要すること、限られた人数での運営のため経営が困難であったため本年度は開所に至らなかった。平成25年度より、社会福祉協議会と座間味村社会福祉法人沖縄備成会が連携し、共生サービスの効率的な運営を検討を進めながら複合施設として活用していくよう促していく。	①保育所の設置が望まれており、認可に向けての行政が関係機関との協議を進めていく必要がある。 ②地域活動支援センターの機能を持つ新たな活動の場を構築する。
	今後の取り組み方針	
<p>①保育人数が限られており、社会福祉法人としての運営は経営上厳しいものがある。観光客からの一時預かりニーズもあり、効果的な運営方法を検討していくことが課題となっている。</p> <p>②障害者の就労支援の場を考案しているが、利用者数少数であるため、村からの委託を受けての運営は厳しいとされている。障害者、高齢者、就労支援者を一体化した新しい事業を展開の検討が望ましいと思われる。</p> <p>施設の利用に関しては、地域に開かれた施設として、災害時における避難施設や会議室の開放、子どもたちと高齢者との世代間交流の場としての幅広活用を促していく。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">30,000</td> <td style="text-align: center;">30,000</td> <td style="text-align: center;">24,000</td> <td style="text-align: center;">6,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	30,000	30,000	24,000	6,000	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
30,000	30,000	24,000	6,000											
<pre> graph LR A[座間味村 30,000 千円] -- 補助金 30,000 千円 --> B[社会福祉法人 沖縄備成会 30,000 千円] </pre>														
資金の流 れの流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		・宿泊施設改修により、スプリンクラーの設置や、福祉複合施設として、障害者も含めた短期入所施設、保育施設、障害者の就労施設として機能を備えた施設に改修されている。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

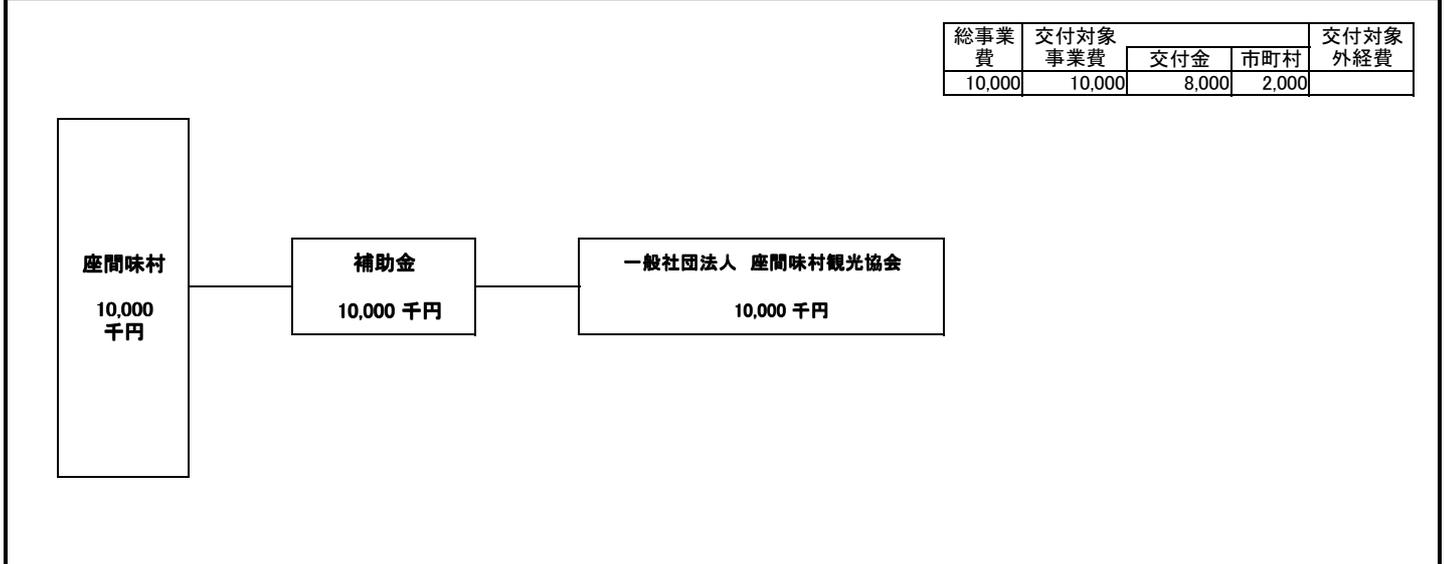
市町村名	座間味村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	座間味村観光受入拠点事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 3-(2)		
担当部署名	産業振興課	事業実施（予定）年度	平成24年～平成33年	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 第III章 1-(4)		
事業内容	365日対応の観光案内業務とタイムリーな観光情報発信及びダイビングや民宿事業者への取次案内をスムーズに行い、外国人を含めた観光誘客に向け、企画立案と事業展開を実施するため事業主体となる観光協会設立へ向け支援を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		13,000				
			13,000				
			0				
			—				
			13,000	0			
	B. 執行済額		10,000				
	うち交付金充当額		8,000				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		76.9%				
予算の状況の説明		当初計画していた職員数の減。（3名） 備品の購入の見直しの為減となった。 ※本事業は、実績額の修正報告を行っており、記載額は修正報告後の額となっている。					
活動目標（指標） 及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	観光客への情報発信	目標	（ 運営補助 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	補助				
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績					
達成状況説明	・補助対象事業者 一般社団法人 座間味村観光協会 ・平成24年10月1日設立						
成果目標（指標） 及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	一般社団法人 座間味村観光協会設立	目標	（ ）	（ 一般社団法人設立 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		平成24年10月1日（設立）			
		目標	（ ）		（ ）	（ ）	（ ）
		実績					
	進捗状況説明	・一般社団法人設立後、開所を10月1日から実施 本村において観光客へより細かな情報発信が可能。					

取組の検証	<p>観光協会においては、人件費、需用費等、村における観光業務としての機能を備えることが最終目標となっているが、会費収入、事業社収入に力を入れ、独立を考えていかなければならない。</p>	<p>観光協会と行政と連携を密にし、今後検討していく。</p>
--------------	---	---------------------------------

今後の取り組み方針

一般社団法人としての運営は経営上厳しいものがある。効果的な運営方法を検討していくことが課題となっている。

資金の流れ



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・事業の支出先は妥当である。また、事業の用途については実績報告、額の確定時における支出等の書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-②	座間味村海域安全隊事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 3-(2)		
担当部署名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24年～平成33年	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 第III章 1-(4)		
事業内容	村指定の3ビーチにおいて、観光トップシーズンから、修学旅行受入期間中、海洋事故防止及び安全確保並びに周辺自然環境の保全活動を図るため、ライフセーバーを配置する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,000				
		(b) 予算現額	10,000				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	10,000	0			
	B. 執行済額		10,000				
	うち交付金充当額		8,000				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		予算通りの執行である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	村内3ビーチへのライフセーバー配置	目標	4月5月(週末配置) 6月～10月(常駐配置)	()	()	()	()
		実績	8月～10月 (常駐配置)				
			目標	()	()	()	()
			実績				
達成状況説明	平成24年8月～10月までの3か月間各ビーチにおいてライフセーバーを配置						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	村内3ビーチへのライフセーバー配置	目標	()	(3ビーチライフセーバー配置)	()	()	()
		実績		配置			
			目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	・村内における各ビーチにおいて、安全で海水浴ができるようにライフセーバーを配置。水難事故を未然に防ぐように、ビーチや、海水浴場での声掛けを行っている。また、マリンジェットを購入したことにより、各ビーチへの監視パトロールがスムーズにできるようになった。					

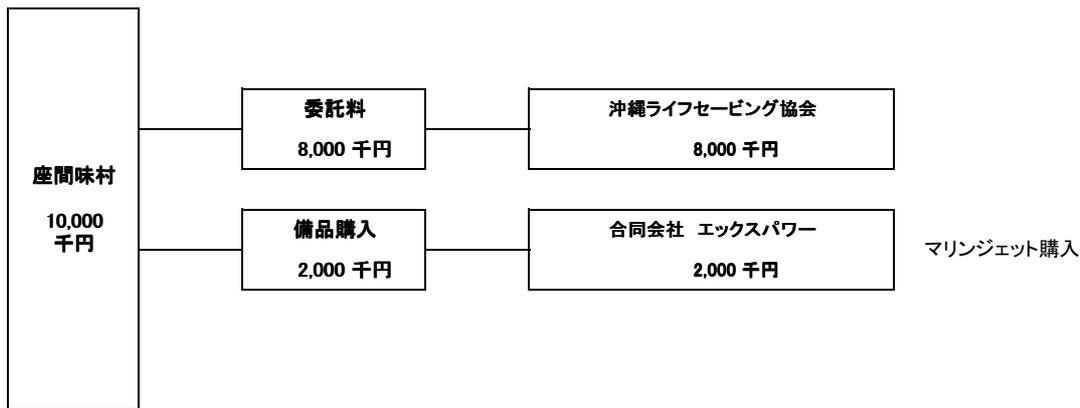
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	県内外で、お年寄りから、子供まで安全で海水浴のできる村としてPRすることができている。今後とも、ライフセーバーを配置し、安心して海水浴ができることをPRしていく。	年間を通じて、海とのかかわりを持っている村なので、今後冬の海のことや、環境のことを考えていく必要がある。

今後の取り組み方針

県内外で、お年寄りから、子供まで安全で海水浴のできる村としてPRしていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,000	10,000	8,000	2,000	



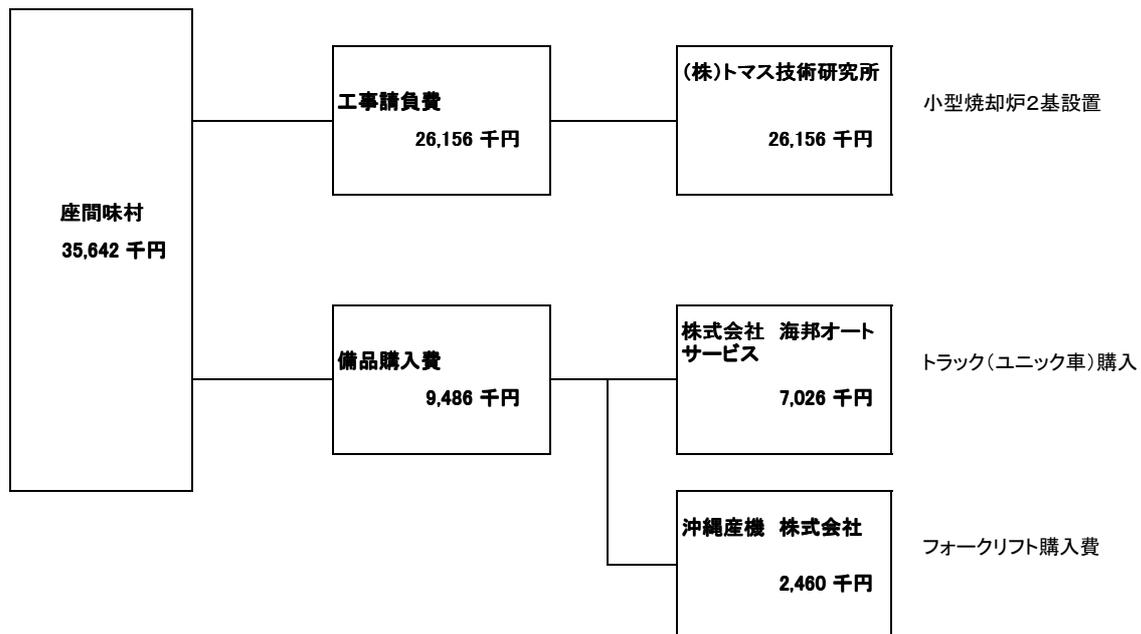
資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	専門職としてのノウハウがかなり重要であり妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8	座間味村美ら島環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 1-(2)	
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	持続可能な循環型社会の構築 Ⅲ-10-(1)	
事業内容	海岸保全と自然環境の保持をはかるため、漂着ごみ及び観光利用地で発生するゴミ収集後、速やかに処理を行う為、小型焼却炉を設置する。また、漂着ゴミの収集時、人力で対応できない重量物対応機材を整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	36,160				
		(b) 予算現額	35,785				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 375				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	35,785	0			
	B. 執行済額	うち交付金充当額	28,513				
		次年度繰越額	0				
		執行率 (%) (B/A)	100.0%				
		予算の状況の説明	予算通りの執行である。				
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	小型焼却炉の設置(座間味、阿嘉) フォークリフト購入(座間味) ユニック車購入(座間味)	目標	(小型焼却炉設置 移送車両購入)	()	()	()	
		実績	小型焼却炉設置 車両購入移送				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	漂着ごみ及び観光領地で発生するごみ収集後、速やかに移送し、焼却処分を行うため適正な処理を行うことができる。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	小型焼却炉設置 :2機 フォークリフト購入:1台 ユニック車購入:1台	目標	()	(2機、2台)	()	()	()
		実績		2機、2台			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	適正な処理を行うことができる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	可燃ごみを沖縄本島に移送を那覇清掃組合に、焼却処理を那覇市、南風原町環境施設組合に委託し処理をおこなっている。	漂着ごみ、観光領地で発生するごみを速やかに焼却処理ができる。撤去困難であった重量物の大型フイ、漁網等の漂着ゴミの回収が可能となりこれまでより効率的な収集体制が図られる。
今後の取り組み方針		
漂着ごみ、観光地発生するごみ少しずつであるが島内で処理できる。観光地としての海岸線を含めた自然景観の保持と環境美化が図られる。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
35,642	35,642	28,513	7,129	



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	事業目的達成の観点から速やかに処理でき適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村
------	------

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	9 座間味村外来植物討伐事業	事業実施(予定)年度	H24～H33	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 1-(1)
				沖縄振興基本方針該当箇所	自然環境の保全・再生・適正利用 Ⅲ-10-(1)
担当部課名	産業振興課				

事業内容
 自然環境保全と観光地である本村の景観保持のため、村内至る所で野生化している外来種「モクマオウ木、ギンネム木」繁殖の抑制を図るため討伐事業を実施する。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	11,520				
	(b) 予算現額	18,900				
	(c) 増減額 (b-a)	7,380				
	(d) 前年度繰越額	-				
	A. 計 (b+d)	18,900	0			
	B. 執行済額	18,866				
	うち交付金充当額	15,093				
	次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	99.8%				
予算の状況の説明	不要額が34千円発生しているが、委託費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はほぼ達成した。討伐事業を拡充させるため、当初予算から7380千円増額補正した。					

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		外来植物の討伐(村内一円)	目標	(500)	()	()
	実績	550				
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	村内在来種の保護が図られ、観光地としての景観が向上するとともに魅力ある観光地が形成されつつある。台風時における倒木災害の減災が図られ、併せて委託事業により雇用の創出につながった。討伐木材を資源とした副産物活用には今後の課題となった。					

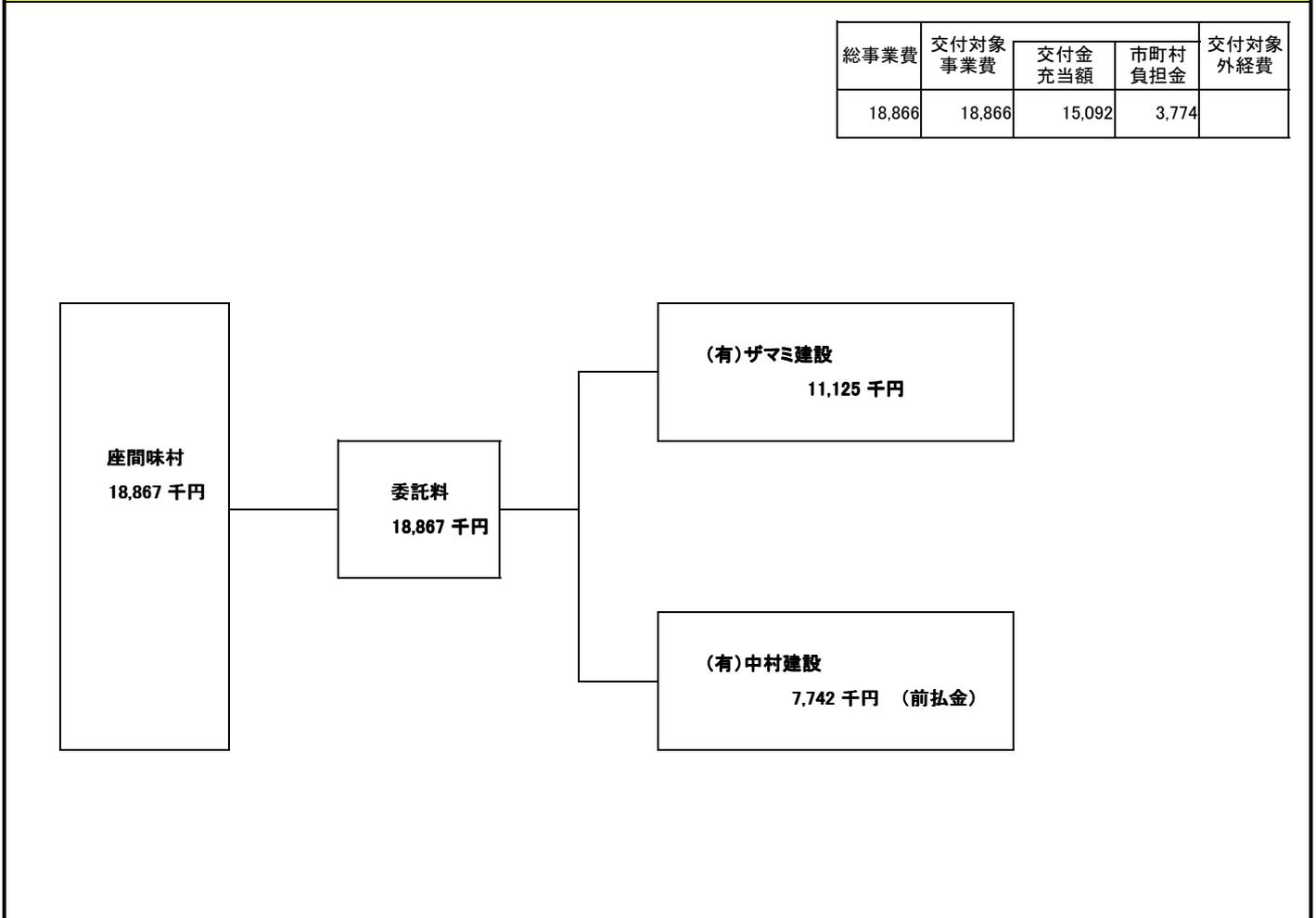
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
			外来植物の討伐(村内一円) 討伐本数500本(モクマオウ・ギンネム)	目標	(0)	(500)	()
		実績	550				
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	討伐事業の実施により、在来種の生息環境や自然環境が保たれるようになった。台風襲来時に折れた枝による建物被害や倒壊により道路の寸断、電気、電話、有線テレビ等のケーブル線切断等ライフラインへの被害も減少傾向にあるが、まだ課題は多い。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>H24年度は、事業スタートの年ということもあり、各地域からの討伐依頼がおおく、当初予定した地域外の事業もあった。</p> <p>各区長は地域の実情を把握していることから、請負業者と雇用者との調整役と考えたが、スムーズに進めることが難しかった。</p>	<p>ライフラインの被害を最小限に抑えることから討伐場所を選定する。観光地として、景観が向上することを最優先に各区長、関係機関との意見交換会を行う。</p>

今後の取り組み方針

請負業者との調整のため、専属職員(臨時職員)を配置する。
 専属職員は、監督職員へ進捗状況報告させる仕組み作りをいくる。
 場所選定等検討事項が生じた場合は、請負業者、関係機関との調整を行い速やかに対処する。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れの点 検・費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	地元業者を選定したことにより、旅費、工機経費が安価となり、村外業者よりも、有利な価格で契約したことから妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村
------	------

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	10	座間味村高速船購入事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 3-(11)
担当部課名	公営企業課	事業実施(予定)年度	H24	沖縄振興基本方針該当箇所
				離島における定住条件の整備
				Ⅲ-9

事業内容
 村では観光客及び離島住民の海上移動の足として、沖縄本島と本村を結ぶ高速船クィーンざまみを運行しており、現在リース船である高速船を一括購入し、安定した運行を確保することにより、定住条件整備と観光振興を図る。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	44,053				
	(b) 予算現額	44,053				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)	44,053	0			
	B. 執行済額	44,053				
	うち交付金充当額	35,242				
	次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	100.0%				
	予算の状況の説明	当初、予算額では、船体価格のみであったが、消費税分は補正予算一般財源を充てた。また、予算額どおり執行ができ目標が達成できた。				

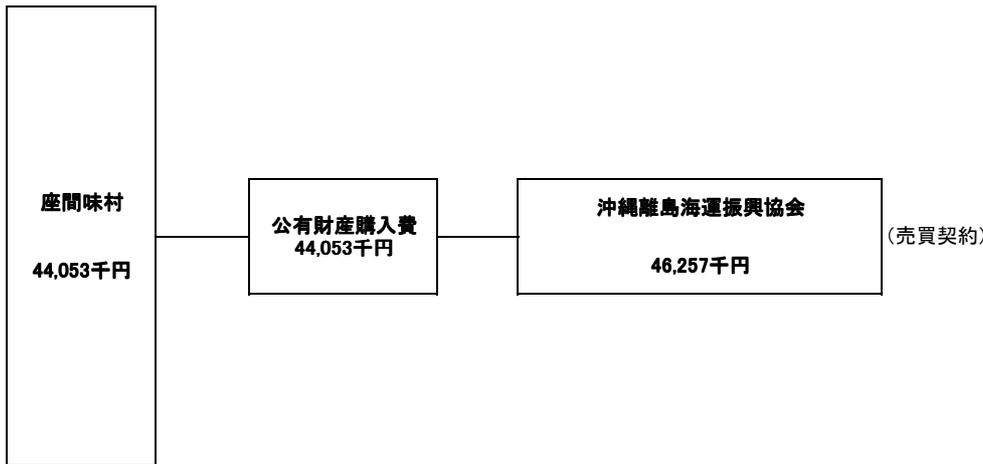
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		高速船購入1隻(クィーンざまみⅢ)	目標 (1隻)	()	()	()
		実績 1隻				
		目標 ()	()	()	()	
		実績				
達成状況説明	村では観光客及び離島住民の海上移動の足として、沖縄本島と本村を結ぶ高速船クィーンざまみを運航しており、現在リース船である高速船を一括購入することができた。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
			高速船購入1隻(クィーンざまみⅢ)	目標 (1隻)	(1隻)	()	()
		実績		1隻			
	【参考指標】	目標 ()	()	()	()	()	
		実績					
進捗状況説明	村では観光客及び離島住民の海上移動の足として、沖縄本島と本村を結ぶ高速船クィーンざまみを運航しており、現在リース船である高速船を一括購入することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	今後の事業展開として、定住促進や観光振興を目的とした、事業展開が必要である。	住民ニーズの動向において関係機関(観光協会等)や地域住民意見交換会などを実施し、今後の運航計画などを検証する必要がある。
今後の取り組み方針		
住民や関係機関などを交えた、船舶改善検討委員会(案)などを設置し、新たな運航計画などを検討する機会を設け実施していく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
44,053	44,053	35,242	8,811	



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	リース物件を売買契約にて、購入しかつ、地方自治法及び議会の議決を得ていることから妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

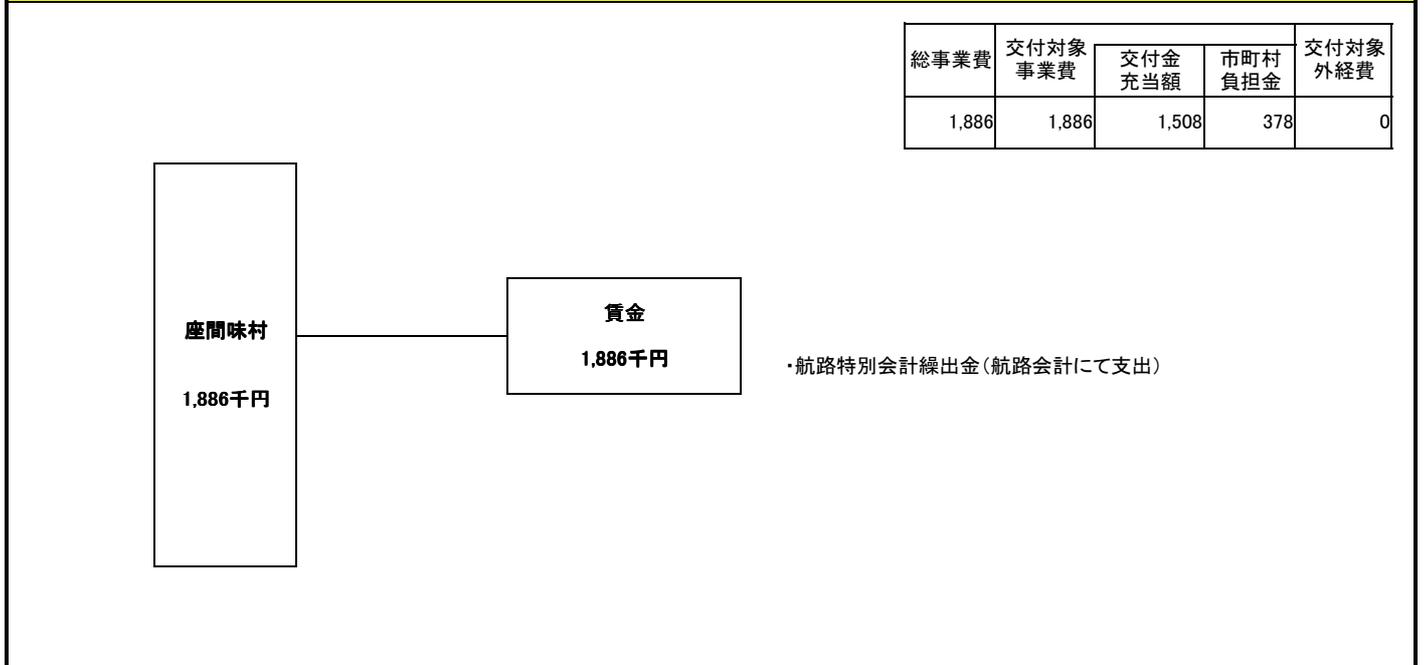
市町村名	座間味村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	11	座間味村村内運航に係る対策事業					
担当部課名	公営企業課	事業実施（予定）年度 H24～H33					
		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所					
		沖縄振興基本方針該当箇所					
事業内容	離島と離島を結ぶ海上交通手段として、小型船舶の資格を有する賃金職員2名を採用し、座間味島と阿嘉島間を定時運航、渡嘉敷村と座間味村の諸島間新規運航を実施し、観光振興を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	2,014					
	(b) 予算現額	1,886					
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 128					
	(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計 (b+d)	1,886	0				
	B. 執行済額	1,886					
	うち交付金充当額	1,508					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	台風や悪天候により欠航のために賃金の減額が生じた						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	座間味島～阿嘉島間	目標	(800回)	()	()	()	
		実績	841				
	渡嘉敷村～座間味村	目標	(60回)	()	()	()	
		実績	32				
達成状況説明	離島と離島を結ぶ海上交通手段として、小型船舶資格を2名採用し、座間味島と阿嘉島間の定時運航、渡嘉敷村と座間味村の諸島間新規事業を実施し新たな離島交通の確保と観光振興が図られた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	座間味島～阿嘉阿嘉島 渡嘉敷村～座間味村	目標	()	(800回 60回)	()	()	()
		実績		841回 32回			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	離島と離島を結ぶ海上交通手段としての足の確保及び渡嘉敷村と座間味村の諸島間の新規運航を展開し、離島交通の足の確保ができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	今後の事業展開として、通年運航はもとより、運航ダイヤなどを検証し、事業の効果を上げる必要がある。	関係機関(観光協会、商工会、ダイビング協会等)や住民のニーズにあたったきめ細やかな運航をするために渡嘉敷村も含めた意見交換会が必要がある。

今後の取り組み方針

住民や関係機関、隣村などとの調整を行いながら、改善等が発生したら速やかに対処し、運航強化をすることで、利用回数の向上に努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	小型船舶資格を2名採用にあたる賃金としての支出であるため、支出先・予算規模・用途等は妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	12	島ちやび解消移動手段安定化対策事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第2章 3-(11)		
担当部課名	総務課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	離島における定住条件の整備 Ⅲ-9		
事業内容	離島観光利便性の向上と離島住民の足を確保し、観光振興と定住条件を図るため、フェリー及び高速船が悪天候などにより欠航等の場合、ヘリチャーターによる移動した際の運賃の一部支援を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,000				
		(b) 予算現額	4,000				
		(c) 増減額 (b-a)	2,000				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	4,000	0			
	執行状況	B. 執行済額	3,660				
		うち交付金充当額	2,928				
		次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	91.5%					
予算の状況の説明	・不要額が340,000円発生しているが、海上時化や天候不良等予想の出来ない状況で、4四半期において平均のフライト数を計上したものであり、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。 ・夏期の台風が発生が予想を大きく超えたため、当初予算から2,000,000円増額補正した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	フライト数	目標	(125フライト)	()	()	()	
		実績	122フライト				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	当初は66フライト×30,000円であり、補助金額1,980,000円であったが、7月～9月までに49フライト(1,470,000円)の実績があり、増額補正を行った。10月～12月は49フライト(1,470,000円)、1月～3月までは24フライト(720,000円)であった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	フライト数	目標	()	(125フライト)	()	()	()
		実績		122フライト			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	当初は66フライト×30,000円であり、補助金額1,980,000円であったが、7月～9月までに49フライト(1,470,000円)の実績があり、増額補正を行った。10月～12月は49フライト(1,470,000円)、1月～3月までは24フライト(720,000円)であった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>船舶欠航時、座間味島の住民、及び観光客は、村内航路(連絡船)において慶良間空港へと向かうため、移動が不便である。</p> <p>お客様の取りまとめが出来ない。アイラス航空株式会社にて予約を受け付けているが、村として取りまとめを行っていないため、1人で搭乗するという方が見受けられる。(5名で乗ると1人6,300円だが、1名だと31,500円全額払うことになる。)</p>	<p>座間味島のお客様については、座間味港東側バースに離着陸が出来ないか。</p> <p>取りまとめについては座間味村観光協会において取りまとめ、予約、乗船の際の注意点等の説明を船舶待合所にて行えないか。</p>

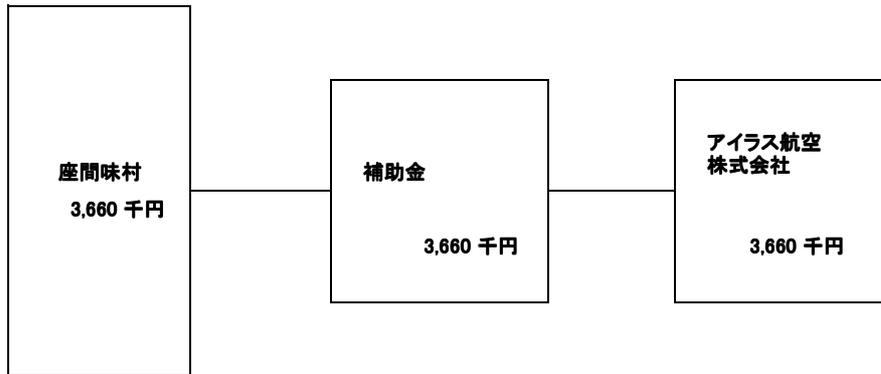
今後の取り組み方針

現在、座間味港に着陸出来るよう、アイラス航空株式会社業務部長と、南部土木事務所に申請をするよう検討する。

現在、座間味村観光協会にてとりまとめが出来ないか観光協会理事並びにアイラス航空株式会社業務部長と検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,660	3,660	2,928	732	



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	船舶欠航時のフライト料金半額補助のみであり、予算は昨年度の実績をもとに数値を出している。また、沖縄県にて民間へリ輸送を行っている業者がアイラスのみであることから、妥当であるといえる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	